Poster Presentation

Sat. Nov 1, 2025 1:00 PM - 1:50 PM JST | Sat. Nov 1, 2025 4:00 AM - 4:50 AM UTC | venue(Kanamori sangyo hall)
[P1] ポスター発表 #1

[P1-19] 連続的な空間体験を考慮した建物内部空間の印象評価予測モデル

*Takumi Yamada[1], Takuya Oki[1] (1. Institute of Science Tokyo)

Keywords：時系列性、印象評価、シークエンス、再帰型ニューラルネットワーク、ストリートビュー、建物内部空間

人々が連続的な空間（シークエンス空間）を体験する際、空間特性など様々な要因の影響を受けて時々刻々と印象が変化することが、既往研究で指摘されている。しかし、シークエンス空間の体験が印象に与える影響を定量的に検証し、かつ、時系列性を考慮した印象評価予測を試みている研究はあまり見られない。そこで本研究では、まず、Google Street View APIを用いて擬似的な空間体験が可能なWebアプリを開発し、ミュージアム内部を対象とした被験者実験により、空間をランダムな順序で体験させた場合と経路に沿って体験させた場合で、印象評価傾向にどのような差異が生じるかを検証する。さらに、実験結果を再帰型ニューラルネットワークに学習させることで、時系列性を考慮した印象評価予測モデルを構築し、その精度と有用性を評価する。これらの実験や分析を通じて、シークエンス空間の設計に資する定量的知見を得ることを目指す。

©一般社団法人地理情報システム学会